

バンク・マンディリ(BMRI)

行動制限下でも、低所得者向けマイクロクレジットなどリテール向けで貸出金利の高い分野で貸出残高が増加
インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BMRI:IJ | REUTERS BMRI:JK

- 2021/12期9M(1-9月)は、総営業収益が前年同期比24.5%増、総営業費用が同22.2%増。増収で費用増を吸収し、純利益が同37.1%増。
- 行動制限(PPKM)実施の下、低所得者向けマイクロクレジットなどリテール向けで貸出金利の高い分野を中心に貸出残高が伸びた。
- 政策金利が過去最低水準に据え置かれるなか、経済活動正常化で利上げ局面に転換すれば、純金利収益の更なる拡大が期待されよう。

What is the news?

10/28発表の2021/12期9M(1-9月)は、総営業収益が前年同期比24.5%増の78.43兆IDR、総営業費用が同22.2%増の34.60兆IDR、貸倒引当金繰入額が同4.7%増の16.43兆IDR、純利益が同37.1%増の19.22兆IDR。政府による新型コロナ感染拡大対応の行動制限(PPKM)の下、低所得者向けマイクロクレジットなどリテール向けで貸出金利の高い分野を中心に貸出残高が伸びたことが増収に貢献。利益面で経費率が0.29ポイント悪化のほか不良債権処理費用も増加したものの、高い成長率によって吸収した。

3Q(7-9月)の前四半期比では、総営業収益が0.8%増、純利益が2.2%増と足元の回復の継続を示したほか、9月末の不良債権率(グロス)が0.37ポイント低下の2.9%へ、不良債権のカバー率が同24.9ポイント上昇の230.1%へ改善するなど貸出の質が向上した。

9Mの収益の内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比26.5%増の453.31兆IDR。貸出残高が同16.9%増に加えて、NIM(純金利マージン)が0.35ポイント拡大の5.03%となったことが増収に寄与。②純保険料収入が同8.2%増の1.32兆IDR、③非金利収益が同21.5%増の23.79兆IDRだった。

同社が注力しているリテール向け融資残高は、①低所得者向けのマイクロクレジットが前年同期比9.8%増の128.9兆IDR(政府プログラム(KUR)が同48.1%増、給与ベース融資(KSM)が同6.1%減、小規模生産関連融資(KUM)が同11.5%減)、②消費者向け融資が同1.0%増の88.4兆IDR(住宅ローンが同3.3%増、自動車ローンが同4.1%減、クレジットカードが同5.4%増)だった。

How do we view this?

通期会社計画は、純金利マージン(NIM)が4.8-5.1%(9M実績5.03%)、総クレジットコストが1.9-2.4%(同2.26%)と計画通りに進捗のほか、貸出残高(平残)が前期比1桁台前半から半ばの伸び(同16.9%)と、実績が計画を上回って推移している。

中央銀行が今年2月以降、主要政策金利を過去最低水準に据え置くなか、インドネシア政府が10/18にジャカルタ特別州の感染レベルを2番目に厳格なレベル3からより緩いレベル2に変更。経済活動正常化に向けた動きが国内経済回復を後押しするとみられる。経済回復局面で政策金利が引き上げられれば、同行の純金利収益の更なる拡大が期待されよう。

業績推移		※参考レート 1IDR=0.0079円			
事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(十億IDR)	106,318	115,812	113,144	98,079	106,682
純利益(十億IDR)	25,015	27,482	17,119	24,525	31,082
EPS(IDR)	536.04	588.90	366.84	530.74	667.89
PER(倍)	13.39	12.18	19.56	13.52	10.74
BPS(IDR)	3,882.91	4,384.30	4,056.14	4,303.76	4,652.71
PBR(倍)	1.85	1.64	1.77	1.67	1.54
配当(IDR)	241.22	353.34	220.27	276.30	359.96
配当利回り(%)	3.36	4.92	3.07	3.85	5.02

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR) **276.30** (予想はBloomberg)
終値(IDR) **7,175** 2021/11/1

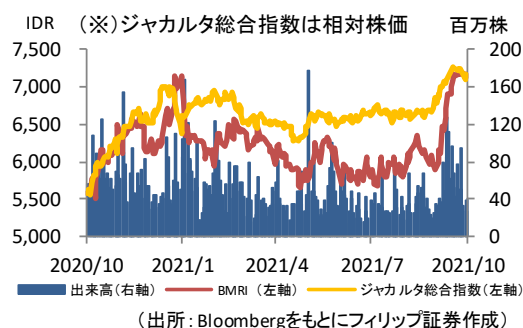
会社概要

1997年以降のアジア通貨危機時にインドネシア政府により実施された銀行再編計画の一環として1998年に設立。1999年にBank Bumi Daya、Bank Dagang Negara、Bank Exim、Bapindoの4つの国営銀行が同行に統合された。現在はインドネシア政府が60%の筆頭株主である。

同社は、コーポレートバンキング、コマース&ビジネスバンキング、マイクロ&リテールバンキング、自己資金運用(トレジャリー)&国際金融、消費者金融の5つの戦略的事業ユニットを展開。投資銀行のMandiri Sekuritas、保険会社のAXA Mandiri Financial Services、イスラム金融のSyariah Mandiri bank、低所得者向けの小口金融であるマイクロバンキングを行うBank Sinar Harapan Bali、マルチファイナンス事業を行うMandiri Tunas Financeなどの子会社がある。

企業データ(2021/11/1)

ベータ値 1.31
時価総額(十億IDR) 327,833
企業価値=EV(十億IDR) -
3ヵ月平均売買代金(十億IDR) 285.8



主要株主(2021/11) (%)
1.インドネシア共和国 60.00
2.VANGUARD GROUP 1.96
3.DJS KETENAGAKERJAAN PROG 1.76
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。